

特集

～ICT教育と教職課程～

現在、日本ではSociety5.0という新たな時代を担う人材の教育や、特別な支援を必要とするなどの多様な子どもたち一人一人に応じた個別最適化学習にふさわしい環境を整備することが求められています。その実現のために、教育現場では先端技術の効果的な活用を学ぶ「GIGAスクール構想」(Global and Innovation Gateway for All：すべての児童生徒のためのグローバルで革新的な扉)が推進されています。このような学校教育の動きに対応するため、本学の教職課程では、ICT (Information and Communication Technology：情報通信技術) の活用を教員養成教育に取り入れています。

<新科目「教育におけるICT活用」>

近年、ICTが私たちの社会や生活に浸透してきたことにより、小学校から大学に至るまでの教育現場では最先端技術の活用が求められています。2019年に文部科学省は、「GIGAスクール構想」を掲げ、児童生徒一人一人がパソコンやタブレットなどのICT端末を活用し、創造性を育む教育を持続的に実現しようとしたのです。新型コロナ感染症の拡大もあり、学校現場では、ICT端末を使った授業が急速に広がってきました。

教員養成においては、教員免許法施行規則が改正され、新たに「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」を1単位以上修得することが求められました。本学教職課程（中・高）では、2022（令和4）年度入学生から、2年次科目「教育におけるICT活用」を新設し、今年度より授業が始ったのです。ICT活用の意義・理論を踏まえ、ICTを活用した教科指導や校務の実際を体験的に学ぶと共に、情報モラル等を指導できる能力を身に付ける授業内容となっています。各教科の教育法や「教育の方法と技術」の教職科目等の授業と連動しながら、学生たちが自信をもって教壇に立つことができる力を育みたいと考えています。
(教職教育支援センター長 菊田 隆昭)

<新科目「教育におけるICT活用」ご担当 小林 輝明先生>

今年度からICTや授業の方法など教職課程で重要な科目を担当することに責任を感じます。でもICTは、「いつもちょっとトラブル」の略だと私は思っています。皆さんと失敗しながら新しいことを、先達に感謝しながら古いことを、一緒に楽しく学んでいきたいと思います。よろしくお願いします。

(本学非常勤講師 小林 輝明)



<科目「教育の方法と技術」ご担当 並木 通男先生>

本講座では、自然なコミュニケーションが生まれる場のデザインを中心に進めています。

安心・安全な場では、様々な事柄に関心と好奇心が生まれ、思い込みや価値観の偏りを脇に置いた思考の枠が広がり、対話の相互作用によって生成的な学びが生まれます。これらの学び場は、日頃からWeb上の情報交換アプリやグループ学習支援ツールなど、ICTを活用することで、オンラインでも同様の場を生み出すことができます。さらに、デザインマップやグラフィックスツールを活用して、言語と非言語コミュニケーションを効果的に融合する技術も学修しています。講座では、ファシリテーター（学びの支援者）としての教師のあり方を学修することで、生徒同士、生徒と先生、先生同士など、学ぶものの同士の関係性の質を高め、その結果として行動や結果の質が高められることを目指しています。教師になる不安はあるものの、それをうわまわる夢や期待をもった多くの学生がいることは心強いことです。

（本学非常勤講師 並木 通男）



ICT 教育に関する特別授業

講義：「学校におけるICT教育の現状と新たな取り組み」
について

日時：令和4年12月1日（木）

対象：教職（中・高）4年生

講師：伊勢太惇氏

《伊勢氏のご紹介》

ご自身の特別支援学級の学習支援において、ICTを先駆的に取り入れ、コロナ禍でZoomによる朝の会やVR活用の授業実践を実施し、大変話題となった小学校の先生です。



《講義について》

本学の4年生後期必修科目である「教職実践演習（中・高）」の履修学生を対象に、市川市教育委員会の伊勢太惇氏をお招きし、「学校におけるICT教育の現状と新たな取り組み」について講演頂きました。

現在日本は、GIGAスクール構想を掲げ、「指導の個別化」・「学習の個性化」をより一層進めようとしています。学校現場では、地域・専門家・クラスメイトと深い学びにつながるような協同的な学びが必要であり、今後はGIGAスクール構想を絡めて授業等を展開する必要性に迫られています。今回、伊勢氏より、先駆的かつ積極的にICTを取り入れている自治体等もあるようですが、自治体により差がある現状や課題についても言及がありました。

講義では、冒頭より即時性のあるアンケート「Slido」^(*)を用い、「学校のイメージ」について学生は意見を出し合い、皆で積極的に意見共有を行いました。そして、ICTツールの積極的な活用は、学びの根幹となる生徒同士の話し合いや振り返り時間の確保ができ、問題解決型の授業に大変有効であることを学生は学びました。

将来教員になる学生にとって、教員に必要な資質である「授業力の向上」にもつながる要素として、学校におけるICT教育の意義は大きいと言えます。学生ひとり一人が将来の教育の在り方を見据え、その重要性について考える大変貴重な機会となりました。今後、学校教育にどのようにICT教育を取り入れ、どのような資質・能力を生徒につける必要があるのか、学生が学びを深めていくことを期待します。

*「Slido」とは、学習者がスマホで打ち込んだ意見が瞬時に画面上で共有でき、同じ意見のもの（キーワードに重複があったもの）には、文字が大きく投影され、視覚的にも分かりやすい学習共有ツールのこと。



2023年度(令和5年度)実施対策講座スケジュール



講 座 名	講 師	対 象	2023年度日程	時 間	教 室
教員採用試験一次対策講座(千葉県問題・小論文)	大野先生	中高・栄養3~4年	4月~7月(月曜)	4限~5限	東11-3
教員採用試験一次対策講座(教育法規・等)	高梨先生	中高・栄養3~4年	4月~7月(水曜)	4限~5限	東6-6
教員採用試験一次対策講座(学習指導要領・等)	阿久津先生	中高・栄養3~4年	4月~7月(金曜)	4限~5限	東5-6
教員採用試験二次対策講座(面接・模擬授業)	大野先生	中高・栄養4年教員採用試験合格者	8月上旬予定	未定	未定
教員採用試験二次対策講座(面接・模擬授業)	高梨先生	中高・栄養4年教員採用試験合格者	8月上旬予定	未定	未定
教員採用試験二次対策講座(面接・模擬授業・私立試験対策・等)	阿久津先生	中高・栄養4年教員採用試験合格者	8月上旬予定	未定	未定
教員のキャリア形成に関するガイダンス	柴内先生	中高1年	10月7日(土)	3限	東4-1
教育実習報告会	4年生(数名)	中高3年生必修	10月28日(土)または 11月18日(土)予定	3限~4限	西1-4
教員採用試験受験報告会	4年生(数名)	中高2~3年受験希望者			
次年度教員採用試験対策講座(千葉県問題・小論文)	大野先生	中高・栄養2~3年	9月~1月(月曜)	4限~5限	未定
次年度教員採用試験対策講座(教育法規・等)	高梨先生	中高・栄養2~3年	9月~1月(水曜)	4限~5限	未定
次年度教員採用試験対策講座(学習指導要領・等)	阿久津先生	中高・栄養2~3年	9月~1月(金曜)	4限~5限	未定
春期教員採用試験集中講座	大野先生・高梨先生・ 阿久津先生	中高・栄養2~3年	2~3月	未定	未定

☆この春から教壇に立つ皆さんへ☆

2019年の春に入学した皆さんが「通常」の大学生活を送ったのは1年間でしたね。2年生を迎えた4月以降の3年間は、コロナの影響を受け、ディスカッションや部活動、ボランティアなどの機会を奪われました。

それでも、コロナは、みなさんの「教員になりたい」という夢までは奪いませんでした。逆境にありながらも「先生になって子どもたちに教科を教えたい」という努力が実を結んだのです。これからも、この努力を忘れず、教師として歩み続けてください。

(教職教育支援センター 田口 久美子)

令和4年度 教員採用試験合格者数一覧

	都道府県／学校種別(不明の場合は空欄)		雇用形態(教科)	合格者数
【公立】	千葉県	高等学校	教諭 〈国語科〉	2(1)
	千葉県	高等学校	教諭 〈家庭科〉	3(3)
	千葉県	高等学校	講師 〈家庭科〉	1(0)
	千葉県	中学校	教諭 〈英語科〉	1(0)
	千葉県	中学校	教諭 〈国語科〉	1(0)
	千葉県	中学校	教諭 〈家庭科〉	7(1)
	千葉県	特別支援学校	教諭 〈家庭科〉	1(0)
	千葉県	中学校	非常勤 〈英語科〉	1(0)
	千葉県	中学校	講師 〈国語科〉	1(0)
	千葉県	中学校	非常勤 〈国語科〉	1(0)
	千葉県	中学校	講師 〈家庭科〉	1(0)
	千葉県	小学校	講師 〈国語科〉	2(0)
	千葉県	小学校	講師 〈家庭科〉	1(0)
	東京都	高等学校	教諭 〈家庭科〉	1(0)
	東京都	特別支援学校	教諭 〈家庭科〉	1(1)
	東京都	中学校	講師 〈家庭科〉	1(0)
	埼玉県	高等学校	教諭 〈家庭科〉	1(0)
	埼玉県	高等学校	非常勤 〈家庭科〉	1(0)
	埼玉県	中学校	教諭 〈家庭科〉	1(0)
	茨城県	中学校	講師 〈国語科〉	1(0)
【私立】	千葉県	私立高等学校	教諭 〈家庭科〉	1(0)
	千葉県	私立高等学校	講師 〈家庭科〉	1(0)
	千葉県	私立高等学校	非常勤 〈英語科〉	1(0)
	千葉県	私立高等学校	非常勤 〈家庭科〉	1(0)
	埼玉県	私立高等学校	講師 〈英語科〉	1(0)
	神奈川県	私立高等学校	講師 〈国語科〉	1(0)
	神奈川県	私立高等学校	講師 〈家庭科〉	1(0)
	埼玉県	私立高等学校	講師 〈家庭科〉	1(0)
	茨城県	私立高等専修学校	講師 〈家庭科〉	1(0)
				39(6)

※現役生、既卒生から令和5年4月30日までに報告があった数字となります。※()の数字は、全体の合格者のうち既卒生の人数になります。

北館2階 教職サポート室からのお知らせ

昨年度、教職サポート室は、西館2階から北館2階へ移転し、教職サポート室が管轄する「ラーニングステーション2(愛称：あつたま)」が増設されました。

あつたまは、本学のキャンパスの特色となる自然の緑を眺め、より多くの学生が集中し、自習ができる快適なスペース環境です。現行の学習指導要領に準拠した新しい教科書も取り揃えております。

また、教育におけるICT実践の取り組みとして、プロジェクター投影が可能な最新の「ホワイトボード」を設置し、教員を目指す学生がより実践的な学びができるようになりました。教育現場の現状を踏まえ、今では学生がICTを駆使し、模擬授業や教員採用試験の対策等で積極的に活用しています。

また、教職サポート室では、教職に関する雑誌や教員採用試験の過去問を随時取り揃えています。平成30年度より書籍を増やし、学生も自由に閲覧が可能です。教員採用試験を受験予定の学生は、年次の早い段階から来室し、頻繁に図書の利用をしております。

教職サポート室は、教職課程の履修相談や教育実習・教員採用試験の対策講座について等幅広く学生の相談を受け付けております。将来教員を目指す学生は、ぜひお気軽に教職サポート室の職員にお声かけください。よろしくお願いします。

閲覧・貸出可能な書籍等について

- ◆各教科の教科書
- ◆千葉県・東京都・埼玉県他教員採用試験過去問題集
- ◆教職の雑誌（毎月購読のおすすめ雑誌、教員推薦書籍等も常備しております）

相談員の先生方ご紹介

教職サポート室には、みなさんの活動をサポートして下さる強力な相談員の先生方がいます。

教員になるための心構えや課程履修における悩み、採用試験関連の疑問など何でも相談に乗ります。

どうぞお気軽に本サポート室にお立ち寄り下さい。



大野 尊史 先生
(月・火曜日担当)



高梨 哲生 先生
(水曜日担当)



阿久津 勝利 先生
(金曜日担当)

【編集後記】

教職課程を履修していた2022年度の卒業生は、33名が新年度より教諭や講師となって教壇に立つことができました。各学部や教職課程の先生方にあらためて御礼申し上げます。

さて、今年度は、新型コロナ感染症の拡大も収まり、大学での授業のほとんどが対面授業となり、大学キャンパス内も活気溢れる様子が感じられ、学生一人一人が楽しく有意義な学校生活を送ってくれると期待しています。教職離れが心配される中ですが、本年度も1年生を対象とした「教職入門」には、100名を超える学生が履修登録しており、資格取得を目指して努力することを願っております。関係する諸先生方には、今後もご理解並びにご支援を御願い申し上げます。

(教職教育支援センター 柴内 靖)

和洋女子大学教職課程ニュース 第12号

発行日：2023年6月1日
編集・発行：和洋女子大学
教職教育支援センター

〒272-8533 千葉県市川市国府台2-3-1
教職教育支援センター事務局本部直通
TEL：047-371-2170